

公約実現へ全力 参院選当選者の横顔

幅広い国会質問 党の要



2000年の第22回党大会で党書記局長に選ばれ、党を動かす要として大きな役割を果たしています。参院選でも、比例代表候補であると同時に、参院選闘争本部長として指揮

市田 忠義 (67) 現

をとりながら全国を駆け巡りました。国会では、本会議代表質問などで国政のあらゆる問題を取り上げ、政府を迫り、偽装請負問題では、受け入れた大企業を責め、大きな反響をよびました。環境委員として、この6年間で50回以上質問し、

財政・金融問題のプロ



9年半にわたり、国民生活破壊の小泉・竹中「構造改革」路線と対決してきた財政・金融問題のプロです。消費税増税阻止の先頭に立ち、今年3月には日本の法人税が社会

大門 実紀史 (54) 現

保険料負担を合わせれば欧米に比べて低いと菅財務相(当時)ら民主党政府を鋭く追及しました。雇用問題でも、日本郵政グループの非正規労働者約12万人を早期に正規雇用化するよう求め、亀井大臣に約束させました。国会で何

議員秘書として活動8年



1965年、長野県小諸市生まれ。早稲田大学第一文学部卒。学費値上げ問題で論陣を張りました。日本民主青年同盟東京都委員会勤務、同中央委員会常

田村 智子 (45) 新

動などの先頭に立ちました。95年から8年間、国会議員団事務局に勤務、石井郁子参院議員や井上美代参院議員の秘書として予算や法案の分析、調査活動、質問準備、法案立案などにたずさわりました。98年、2001年参院

新しい政治への模索つづく

参院選挙でのご支援、誠にありがとうございました。今回は、昨年夏の衆議院選挙で政権についた民主党の公約破りと米軍基地押しつけ、消費税10%への引き上げ表明などへの「ガッカリ感」が広がる中で展開。甲良町の比例区の前回比で、民主が54票減、得票率で3.25%の減。一方、自民は214票の減、得票率で7.53%の減で、全国的にも「自民党の崩壊」現象に歯止めがかかっていないことがうかがえます。国民が新しい政治への模索を続けている反映と言えそうです。

下の表は甲良町開票区の前回比などです。

	比例区		選挙区	
	得票数	得票率	得票数	得票率
今回参院	282	7.85%	266	7.20
07年参院	255	7.42%	244	6.80
差	+27	+0.43%	+24	+0.40%
09衆院	319	7.52%		

建設業法違反(下請け発注限度額)の疑い 町民有志 県に調査要請

今回の官製談合疑惑をめくり、建設業法違反の疑いが強まったことを受け、町民有志が、県会議員を通じ、滋賀県の担当課に対し、厳正な調査とそれに基づく適正な処分などを求める要請を行ったことの情報伝わってきました。詳しく分かれば、後の機会にお知らせいたします。

右上、「潮流」はいずれも「しんぶん赤旗」より

甲良民報

2010年7月18日 453号
発行責任: 日本共産党甲良町支部
代表: 西澤伸明 甲良町在士 463
Tel. Fax 38-4949

潮流 「ゲゲゲ」の漫画家・水木しげるさん。作家の瀬戸内寂庵さん。「九条の会」よびかけ人の哲学者・鶴見俊輔さん。児童文学の岩崎京子さん。▼みなさん、1992年生まれました。ことし、米寿の88歳。それぞれの越してきた年月の険しさを察しつつ、いっそうのご活躍を願わずにはいられません。長寿国でも、平均寿命を5歳ほど上回る米寿は、立派な長生きのしるしです。▼きょう、日本共産党も創立88周年の日を迎えました。一人ひとりの人間なら、人生の総決算の時期をどうゆたかに暮らすか、考えをめぐらせておかない米寿の年です。しかし、日本共産党に総決算の時は、まだまだやってきません。▼かつてフランスの共産主義者が残したという言葉が、わが国にも伝えられています。共産主義は世界の青春。それは歌う明日を準備する。もともと日本共産党は、「歌う明日」を準備する、どんな年にとっても「永遠の青年」のような存在なのでしょう。▼反戦をつらぬき人権を打ち立てよう、と命と青春をささげた戦前の先輩たち。草の根や職場から、あるいは議會で、独立・民主の日本をめざしてきた戦後のたたかい。きょう、88年の道のりを改めて胸に刻みたい、と思います。▼昨日付本紙に、長崎の橋本憲治・党五島群委員長の「日誌」が載っていました。悔しい結果に終わった参院選の投票翌日、新しい党員を迎えた、といっています。歴史と伝統を積み重ねながら時代の最先端をみよめる党の、歩みはやみません。

(2010・7・15)

メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページ: グーグル「西澤伸明」で検索

日本共産党の見解を紹介します。